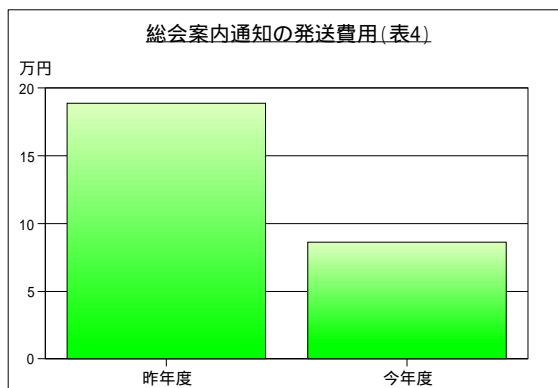


いろいろな工夫により、どれくらいの節約がはかれたか？

新体制になってから、経費削減のため色々な工夫に取り組みました。
成果が大きかった内容は次の通りです。

総会案内通知の発送費用の削減

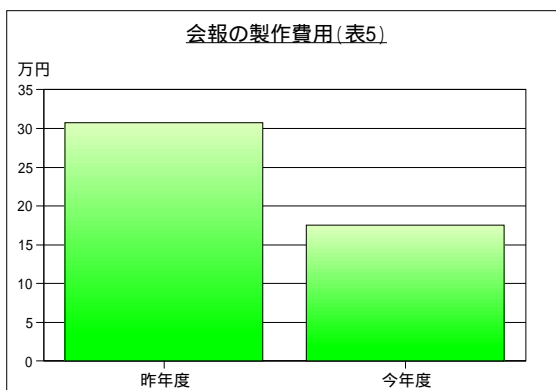


	昨年度	今年度	単位:円
総会案内発送料	188,765	86,410	

過去の反応に対する実績を調べてグループ分けをした
反応ありの組には封書で広報誌を同封して毎年の案内とした
反応無しの組は往復葉書にした。官製葉書をやめて復信は
料金受取人払いと工夫した。年齢層に応じて、一年・二年・三年
間隔とした(毎年全員には発送されない)
会員からの返信の実数が落ちないように工夫した

以上の工夫により、約10万円(54%)の削減が出来た

会報誌制作に係わる費用の削減

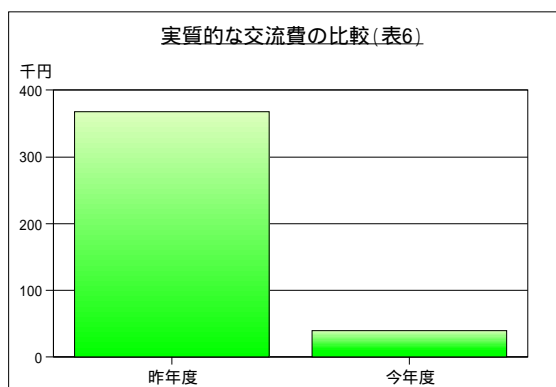


	昨年度	今年度	単位:円
会報制作費	307,440	175,350	

広報誌はこれまでの全員に発送する方法をやめて、封書グル
ープの人だけ(451人)への発送としたため、今年度は500部の
製作となった
昨年度は1750部製作した
往復葉書グループで年会費を頂いた人には後日広報誌を
送付した

以上の工夫により、約13万円(43%)の削減が出来た

交流事業に係わる費用の削減



	昨年度	今年度	単位:円
交流費	368,000	40,000	

交流が欠かせない物と、そうでは無い物を厳密に区分けした
財政上の理由からそうでは無い物への出席は見合わせた
出席の場合、飲食や時には当人への手みやげが伴うことから
出席費用は会からの助成を止めて出席者の負担でお願いした
会への貢献は事実であるので、これを出席者からの寄付金
として決算書に明記し広く会員に公示することにより、謝意を
表すこととした
本校行事参加の場合は出席者の負担が大きいため、これまで
通り交通費を助成した

結果的に実質の出費は本校行事の際の交通費だけとなった
以上の工夫により、約32万円(89%)の削減が出来た

以上の様な経費削減の見通しがたった事から、長年行ってきた「広報誌への広告取り」は
本年度は実施しませんでした。

注) 昨年総会での会計年度変更により、2005年・2006年と表示すると、一部比較ができない部分が生ずることから
実質内容で比較するため、「昨年度」「今年度」という表現を使用した (2006.10 ws)